

# 鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 31号  
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会  
発行日 2002. 6. 15  
編集 芳村恵子  
〒680-0002 鳥取市浜坂東 1-10-15

『中国四国ブロック青少年  
育成アドバイザー連合会  
平成14年度総会』に出席して

井上 廉女

旭川の清流、釣りと酒、桜と温泉の町建部町は、津山の南、岡山方面へ車で40分ほど行ったところにあります。中四国の各県のアドバイザーそれぞれが集まり易いということから、ここ建部町が総会の地に選ばれ、3月の理事会に引き続き、5月25日中国四国ブロック青少年育成アドバイザー連合会の平成14年度総会が開催されました。

当日は皆に建部の立派なカラー冊子を配られ、挨拶の中で町教育長が「自然と文化を生かした町作りについて」熱く語られました。小さな町でもこのようにスポットを当てることでステキに輝いてくることを再発見しました。PRは大事ですね。

この総会には、岡山からの22名をはじめ43名の出席があり、鳥取県からは高橋会長・西浦副会長・森岡事務局長・東・井上の5名が参加しました。13年度の報告と決算・14年度の計画と予算について審議し、14年度から年会費の値上げ（3千円→5千円）が決定、また鳥取の次の開催地が徳島に決まりました。日程は平成16年2月28・29日の予定です。また高橋会長から鳥取大会の開催の案内とお誘いがありました。中国と四国を結ぶ青少年育成連携軸の事業を使った大会参加のバスツアーの企画などもあるということで、各県からの一人でも多くの参加者を期待しているところです。

本年は、総会研究大会と別日程になって時間が取れたことにより講演もありました。建部町文化センター館長谷義仁氏より、「地元で取り組んでいるユートピア・クラブの子ども達の創作活動（絵・詩作・石こう遊びなど）」についての話でした。このように各地で積極

的に取り組まれている事例を聞くと、元気がでます。鳥取大会での実践報告の反響が今から楽しみです。

これから大会の準備が本格的に始まります。成功に向けてみなさんががんばりましょう！



## 平成14年度総会 並びに第4回実行委員会のご案内

さて、14年度の総会を下記日程の通り開催いたします。いろいろとご多忙中のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようご連絡申し上げます。

なお、研究大会の第4回実行委員会も同時開催いたします。また、会終了後、長年お世話いただいた山崎洋一前県民会議事務局長をお招きし、会場を移動して懇親会を行いますので、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

### 記

1. 日時 平成14年7月7日（日）  
午後1:00～5:00
2. 場所 ふれあい会館  
鳥取市扇町21 TEL 0857-21-2266
3. 懇親会 ホテルニューオオタニ  
「パリエール」 TEL 0857-23-1111  
午後5:00～？  
会費 男性 3800円  
女性 3200円

（食べ放題・飲み放題）

なお、準備の都合上、欠席の場合は前日までにお知らせください。

TEL/Fax 0859-75-2446 事務局 井上まで  
以上

西日本中央連携軸推進協議会  
「交流」促進事業

## 『中国と四国を結ぶ』

### 『青少年育成連携軸』

主催：高知県青少年育成  
アドバイザー協議会

西日本中央連携軸推進会議の助成（申請中）を受けて、西日本中央連携軸で結ばれた徳島・香川・愛媛・岡山の少年育成アドバイザー協議会のメンバーとご一緒に、青少年育成アドバイザー研究会鳥取大会に参加しましょう。四国は香川県の宇多津に集合し高知からのバスに同乗、岡山を経て米子へまいります。往復の途中で、青少年のための施設見学や視察を含め研修・交流をおこないます。

（定員：40名）

#### \*日程

11月23日（土）

6時 高知市元NTT東局前出発

11時30分 米子着  
13時 研究集会

11月24日（日）

9時 研究集会  
15時30分 大山寺出発  
21時30分 高知市着



『平成14年度 中国・四国ブロック  
青少年育成アドバイザー研究会  
鳥取県大会』に向けて

芳村 恵子

この度、研究集会で実践発表をさせて頂くことになりました。

平成6年より鳥取県青少年育成アドバイザーの仲間入りをさせて頂きながら、資格を取得し、以来今日まで活動を続けさせて頂いています。その間、母親としてまた職業の助産

婦としての眼を通して青少年を見てきました。

もともとわが子の育児のためにと始めた青少年に関する学習でした。しかし、「親の目」また「大人の目」を養うことは、難しいものです。みんな巣立っていった今、いろんな意味でその答えを見る思いです。

仕事の上でも、講演会や座談会を通して青少年たちとの嬉しい出会いがある反面、中絶やレイプなど悲しい出会いもあります。開業医に移った現在、その悲しい出会いも決して少なくありません。



「知らないことは イケナイこと」というタイトルの10代の女の子に向けた中村理英子著の本があります。本当に知識不足以前の問題で、自分の体の仕組みすら知ろうともしないで、また折角の学校の授業も興味を持って聞こうとせず（内容にも大いに問題あり）、そのくせ、セックスはまったくの無防備で、「単なるお楽しみ」になっています。その結果として性感染症に罹ったり、望まない妊娠の末の中絶ということになり、私たちの所を訪れます。本当に悲しくなります。

セックスを「とっておきの行為」と感じて成長することは、子ども達を取り巻く家庭と地域と学校のすべてが、かかわらなければなりません。アドバイザーの方々はすでにご存知で、実践していられっしやる方も多いと思いますが、私の体験した事例や活動を通してお話ししたいと思います。

#### 編集後記

まだ6月だというのに真夏のような日差しを受けながら、アジサイが咲いています。

11月の研究集会鳥取大会に向けて着々と準備が進んでいます。会員は少ないのですが、力を合わせて最大限のパワーを結集して実りあるものにしていきたいものです。

七夕の日にも一人でも多くの方にお会いできることを楽しみにしています。